

【新規設定コース】

技能・技術実践研修カリキュラム

※記載内容は変更となる場合があります

コース番号	コース名	期間	定員	日数
H1-1	【通信活用研修】「CIS対応採点基準を完全マスター！」評価の仕組みと実践法	未定	50	2(集合1)
開催会場	オンライン(各施設)	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい及び到達目標	本研修では、技能五輪国際大会および全国大会における採点基準の作成に関する考え方と手法を体系的に習得します。両大会には、考え方や運用方法に若干の違いがあるものの、採点基準は技能評価の根幹を成すものであり、その原則と作成手法の理解は極めて重要です。本研修では、CIS(Competition Information System)に対応した採点基準について、その基本原則から具体的な作成方法までを丁寧に解説します			
最低限必要な知識	技能五輪国際大会及び全国大会に関して基本的な知識を有する方。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修として実施され、集合研修の終了後に事後課題が提示されます。受講者は、指定された期日までに課題に取り組み、その結果を提出していただきます。 この事後課題は、後続研修である「CIS導入実践講座：評価基準設計の手法と運用」においてフィードバックが行われます。			
	事後課題：各職種における採点基準を、CISフォーマットに則って構造的かつ適切に対応させる。			
	1. CISの概要 CISによる評価と結果の出力		0.5 H	
	2. 採点基準の原則と採点方式の理解 技能評価の原則、評価構成要素、採点方法の違い		0.5 H	
	3. 大会別の相違点と統一的な設計アプローチ 各評価設計の違いと共通ルール、現場適用への留意点		0.5 H	
	4. CISフォーマットと採点基準の整合性 CISの概要、入カールール、配点と計算式の設計方法		0.5 H	
	5. 評価の整合性と信頼性を高める採点設計の条件 客観性／主観性の混在、配点バランス、係数設計等の留意点		0.5 H	
6. よくある誤りと修正の視点 構成ミスや整合性不備を防ぐチェックポイント		0.5 H		
7. まとめと質疑		3 H	0 H	
リニューアルの概要及びアピールポイント				
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員(ユニット)	教授 菊池 拓男 准教授 遠藤 雅樹			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト(予定)				